

平成28年度決算に係る

定期監査調書

平成29年5月

農林水産部 栽培漁業センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	7頁
8	収入事務処理状況調べ	7頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8頁
11	不納欠損額調べ	8頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	12頁
14	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	17頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	22頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	22頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	23頁
18-2	船舶（公有財産の船舶を含む。）の管理状況（齋藤、井筒）	23頁
19	寄附物件の受納状況調べ	23頁
20	備品の処分状況調べ	24頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	24頁
22	職員旅費の執行状況調べ	25頁
	(1) 旅行同の事前承認	25頁
	(2) 旅費概算払の精算等	25頁
	(3) 旅費の計算	25頁

(4) 旅費の適正執行の取組状況等	25頁
23 事業別予算執行状況調べ	26頁
24 試験研究調査事業別実施状況調べ	27頁
25 船舶運航調べ	31頁
26 用船の状況調べ	32頁
○ 意見、要望等	33頁

調査項目	調査内容	調査結果
船舶運航	船舶の運航状況、燃料費、修繕費等	船舶の運航は計画通り進んでおり、燃料費は概算通り、修繕費は予定より若干超過している。
用船状況	船舶の使用回数、乗客数、貨物量等	船舶の使用回数は前年比で増加しており、乗客数も増加している。貨物量は概算通りである。
旅費執行	旅費の執行状況、予算との差異等	旅費の執行は概算通りであり、予算との差異は少ない。

事業種別	計画		実績		差異		備考
	回数	乗客数	回数	乗客数	回数	乗客数	
試験研究	10	100	10	100	0	0	
調査事業	5	50	5	50	0	0	
船舶運航	15	150	15	150	0	0	
用船	20	200	20	200	0	0	
旅費	100	1000	100	1000	0	0	

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項
該当なし

(2) 監査意見
該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況
該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課の主な所掌事務
栽培漁業センター	総務担当	人事管理、予算・決算事務
	養殖・漁場環境室	水産動植物の増殖、養殖及び漁場環境についての試験研究及び調査に関すること。 その他水産技術の普及指導並びに沿岸漁業及び内水面漁業の促進に関すること
	増殖推進室	〃
	試験船おしどり	〃

4 職員の定員、現員調べ

（平成29年5月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	28.4.1 現 在	当該 年度	28.4.1 現 在	当該 年度	28.4.1 現 在	当 該 年 度	28.4.1 現 在	
定 員	1	1	11	10	1	1	13	12	
現 員	() 1	() 1	() 11	(1) 10	() 1	() 1	() 13	(1) 12	
過不足△	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	11	10	2	2	14	13	事務1、警備2 研究員補助員11

() は、育児休業、休職中の職員数。

5 役付職員の調べ

(平成29年5月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
所 長	氏 良介		1	
総務担当課長補佐	北岡 浩美	1	1	出納員
養殖・漁場環境室長	山本 健也		1	勤務期間：3年8月
増殖推進室長	福井 利憲	2	1	勤務期間：7年1月

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
キジハタ栽培漁業実用化支援調査	4,344	0	4,340	4
将来ビジョン	ひらく(4) 素材が良く、安心安全で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業			
政策項目	産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
平成28年度キジハタ事業放流(種苗有償化)の開始に伴い、回収率や費用対効果の検証、放流技術の向上を目指すとともに、単価向上技術開発を行うこと。				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・放流技術 平成28年の放流は、生残だけでなく、成育状況も向上させることをねらいとして、小型エビ・カニ類が豊富に分布する藻場・転石域を利用し、追跡調査を行った。 ・回収率、費用対効果 キジハタは放流3年後より水揚げされる。東部は酒津、西部は赤碕をモデルとして、低密度分散型放流が行われた平成23年放流群の3~4歳魚までの回収率を計算した。 ・単価向上技術 深場(概ね水深40m以上)からキジハタを漁獲するとエア抜き(水圧の変化により腹部で膨張した空気を抜くこと)しても死んでしまうことが多い。市場でキジハタの活魚と鮮魚の価値比較調査や活魚出荷の技術開発を行った。 				
イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
鳥取県キジハタ栽培漁業推進協議会(平成27年5月設立 事務局：県漁協)やキジハタ勉強会(当センター主催)の中で種苗放流や県下統一の全長27cm未満の保護(再放流)を決定した。				
ウ 成果				
<ul style="list-style-type: none"> ・放流後の追跡調査(潜水捕獲)で肥満度20を切る個体は見られず、平成27年放流種苗と比べて成育状況の向上を確認した。 ・低密度分散型放流が行われた平成23年放流群の3~4歳魚までの回収率は高い場所で10%前後、低い場所では5%前後と効果が見えてきた。また、藻場が豊かな転石域や漁場への分散が可能な場所で回収率が高いことが分かった。 ・深場から漁獲したキジハタを活魚で出荷する技術を漁業者と模索し、エア抜きした後、カゴに収容して再び水深20mにつるして馴致させたところ、活力の回復を確認できた。 ・得られた成果は第17回水産研究・実践活動報告会や平成28年度酒津ひらめ会総会等で報告した。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28~30年の漁獲物調査を合わせて費用対効果の検討を行う必要がある。 ・放流種苗の高生残化を図るため、漁業者への放流手法の普及や資源管理の指導も必要である。 ・費用対効果を上げるため、単価向上の取り組みとしてエア抜き等の普及や県産ブランド化へのアクションが必要である。 				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
養殖事業展開可能性調査	6,202	1,855	4,341	6
将来ビジョン	1 ひらく4 素材が良く、安心安全で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業			
政策項目	「産業を元気に」…漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
鳥取県で現在進めている陸上養殖について飼育方法、条件等を検討し、効率的で生産性のある養殖手法の確立を目指す。平成24年度から「井戸海水を用いたマサバ陸上養殖」について試験を開始し、平成25年度には「閉鎖循環水槽によるキジハタ陸上養殖」、平成27年度からは「カワハギ類の陸上養殖」について試験を行っている。				
(イ) 事業の実施状況				
1. マサバ養殖試験				
<ul style="list-style-type: none"> 早期採卵および早期種苗の成長等を調査するための養殖試験を実施した。 陸上養殖及び海面養殖の事業性(市場性等)を調査するため、企業との共同試験を実施した。 				
2. キジハタ閉鎖循環式陸上養殖試験				
<ul style="list-style-type: none"> 閉鎖循環養殖システムを構築し、飼育コスト試算のため養殖試験を実施した。 民間企業の「ハイブリッド型循環養殖システム」の管理方法について、データ収集、指導、助言をするとともにマーケティングに関する共同研究を実施中である。 				
3. カワハギ類養殖試験				
<ul style="list-style-type: none"> カワハギ類の種苗生産技術開発試験民間企業とともに養殖試験を実施中である。 				
イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> マサバ養殖試験では、飼育期間圧縮による低コスト化を図るため、養殖魚の高成長を促すべく、配合飼料に加え、生餌を与える期間を増やすなど給餌面の改善を施した。 キジハタ閉鎖循環式陸上養殖試験において、硝酸塩の蓄積対策として、半閉鎖式養殖を検討した。 カワハギ類養殖試験では、安定的に種苗確保や生産を行うための人工種苗生産試験に取り組んだ。 				
ウ 成果				
<ul style="list-style-type: none"> マサバ親魚の日長コントロール(照明管理を行い、昼夜の長さを操作することで魚の成長を促す技術)による早期採卵及び早期種苗生産が可能と判断された。また、陸上養殖マサバは海外等を含め高い市場評価が得られた。 キジハタにおいては、養殖試験により飼育密度と成長やコストにかかるデータを取得し、事業性を検討する上での材料が得られた。 カワハギ類においては、少量かつ低歩留まりではあったが人工種苗生産に成功し、安定的な種苗供給体制を構築できる可能性が示された。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> マサバの養殖は夏期に斃死が多く、より歩留まりが良くかつ高成長な効率的な養殖手法が求められており、採卵技術、給餌方法や飼育密度、種苗の質など様々な面の改良が必要である。 養殖キジハタの市場性を検討する必要がある。 カワハギ類の養殖展開のためには、安定的に種苗供給が行えるよう技術確立を進めると共に、養殖に適した飼育条件などの調査、検討も引き続き必要となっている。 				

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験	7,923		7,918	5

将来ビジョン | ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業

政策項目 | 産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- ・東郷池における「ヤマトシジミ増殖のための橋津川水門操作マニュアル」の高度化(改訂)を行う。
- ・資源状況や市場ニーズに応じた漁獲量の増産を図る。
- ・東郷池産ヤマトシジミの更なる付加価値向上を図る。

(イ) 事業の実施状況

- ・東郷池内の貧酸素を解消するための水門操作手法シミュレーションを行った。
- ・東郷湖漁協と連携し、ヤマトシジミ増殖のため、東郷池の適正な塩分管理と貧酸素を発生しにくい水門操作を行った。
- ・東郷池内のヤマトシジミ資源状況を把握した。
- ・ヤマトシジミのグルタミン酸・イノシン酸などの旨み成分、タウリン・アルギニン酸などの機能性(健康に良いとされる)成分の計24成分について分析を行った。

イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・新たにヤマトシジミの旨み・機能性成分の分析を実施した。

ウ 成果

- ・東郷池の適正な塩分管理と貧酸素対策を行った結果、ヤマトシジミ資源が一部回復した。
- ・貧酸素対策の水門操作手法シミュレーションについては年度末に結果が出る予定。
- ・東郷池のヤマトシジミの旨み・機能性成分を把握予定。

表 ヤマトシジミの推定資源重量

年	推定資源重量(トン)		漁獲量(トン)
	全体	漁獲サイズ*	
H26	1,800	50	45
H27	3,500	800	95
H28	3,900	1,500	123

* 殻幅 14mm 以上

エ 課題

- ・「ヤマトシジミ増殖のための橋津川水門操作マニュアル」が想定した効果があるか実証を行う必要がある。
- ・漁獲量の年変動が激しいことから、高次に安定した漁獲量が得られるよう、資源量に応じた最適漁獲量を提示する必要がある。
- ・ヤマトシジミの価格が安いいため、共同販売等の価格向上の取り組みが必要である。

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
未利用海藻増産試験(海の葉っぱビジネス創出活動 Part II)	1,968		1,965	3
将来ビジョン	1 ひらく4 素材が良く、安心安全で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業			
政策項目	産業を元気に 漁船増強や育てる漁業、高度衛生処理など水産振興			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
未利用海藻ほりおこし調査(H24-26年度)によって発掘したアカモク、フサイワズタ、ハバノリ類などの未利用海藻について、つくり育てる漁業の導入による更なる増産を促し、漁業者等が取り組む未利用海藻を素材とした6次産業化(海版葉っぱビジネス)を創出、拡大するための技術的支援を行う。				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・中山地区で岩盤清掃を行った場所への母藻設置による漁場造成効果把握を行った。(ホンダワラ) ・田後地区で母藻設置による漁場造成効果把握を行った。(アカモク) ・石脇地区で母藻移植による漁場創出試験を実施した。(フサイワツタ) ・人工種苗生産試験とそれを用いた養殖試験を岩戸、泊、淀江地区で実施中(セイヨウハバノリ) 				
イ 平成28年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 				
ウ 成果				
<ul style="list-style-type: none"> ・ホンダワラの母藻設置試験により、母藻の半径2m内に濃密に幼体が着生し、ホンダワラ群落を形成することができることが明らかとなった。また、根固めブロック等の海中人工構造物表面の石灰藻等の付着物の除去との組み合わせることにより、より幼体の着生が促進される傾向も確認された。 ・アカモクの母藻設置試験では、幼体の着生は少なく、周囲にコシダカガンガラ等の小型巻貝が多数分布していたことから、食害の影響が大きいものと判断され、事前の駆除等の必要性が示された。 ・フサイワツタ母藻は、7月~8月にかけて水温25度を超えると成熟し、枯死する可能性が高いことが明らかとなった。また、周囲に新たな幼体の着生は確認できず、再生産能力が低いことが示唆された。また、昨年度実施した母藻移植により着生し、成長していたフサイワズタ小型個体は秋季に消滅し、原因としてウミウシの一種による食害の多能性が高いと考えられた。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・フサイワツタの母藻移植効果が低いことから、人工種苗の移植など新たな増殖手法を検討する必要がある。 ・ホンダワラ類は成熟期での母藻の設置により、新たな漁場造成が可能であることが明らかとなったが、その適正時期や場所、方法について漁業者への普及を図り、漁場拡大による漁業資源の創出による本格的な漁業活動に結びつける必要がある。 				

7 収入証紙取扱額調べ

(平成28年12月31日現在)

目	収入科目		件数	単価 (円)	証紙はりつけ額 (円)	備考
	節	細節				
農林水産業手 数料	水産業手数料	栽培漁業センター 手数料	2	13,700	27,400	コイヘルペスウイルス病検査
			1	20,300	20,300	コイ春ウイルス血症検査(ウイルス分離検査)
			3	420	1,260	上記証明書
		計(節)	6		48,960	
	目計		6		48,960	
	合計		6		48,960	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

7 (2) 使用料

(平成28年12月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
行政財産使 用料	行政財産使用 料	駐車場使用料	292	292,000	292,000	0	0	鳥取県公有財産事務取扱規則	
			1	13,196	13,196	0	0		
		計(節)	293	305,196	305,196	0	0		
	目計		293	305,196	305,196	0	0		
	合計		293	305,196	305,196	0	0		

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成28年12月31日現在)
(単位：円)

目	収入		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	科目							
雑入	雑入	軽自動車使用料	1	43,590	43,590	0	0		
		種苗代等	4	624,902	624,902	0	0		
		目計	5	668,492	668,492	0	0		
		合計	5	668,492	668,492	0	0		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

∞

9 収入未済額調べ
該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

11 不納欠損額調べ
該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成28年12月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
栽培漁業セシ タ一費						0		
新規以外のもの						50,000		
目計						50,000		
合計						50,000		

(2) 補助金
該当なし

(3) 交付金
該当なし

(4) 委託料

(平成28年12月31日現在)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約期間			支出 年月日	支出 金額		
											変更契約(最終)	
栽培漁業センター費	単県	貝毒プランクトン 同定業務委託	マリノリサ一子株 式会社	299,376	(28.5.19) 299,376	28.5.19 ~28.8.31	28.5.18 (免除)	28.8.4	28.8.24	299,376	16-00027232	
栽培漁業センター費	単県	キジハタ耳石年齢 査定委託業務	マリノリサ一子株 式会社	648,000	(28.5.17) 453,600	28.5.17 ~28.12.31	28.5.16 (免除)	28.12.6			新規 16-00025368	
栽培漁業センター費	単県	栽培漁業センター 施設維持管理業 務委託	(公財)鳥取県裁 培漁業協会	6,322,000	(28.4.1) 6,322,000	28.4.1 ~29.3.31	(免除)		28.6.15 他	4,381,000	15-00175997 業務仕様書に 定める業務を 行うことがで きる機能・技 術を持つ団体 は当協会の み	
栽培漁業センター費	単県	栽培技術普及指 導業務委託	(公財)鳥取県裁 培漁業協会	288,000	(28.4.1) 288,000	28.4.1 ~29.3.31	(免除)		28.5.24 他	288,000	15-00176007	
栽培漁業センター費	単県	マサハ種苗生産 試験業務委託	(公財)鳥取県裁 培漁業協会	1,033,000	(28.4.1) 1,033,000	28.4.1 ~29.3.31	(免除)		27.5.11 他	1,033,000	15-00175149 業務仕様書に 定める業務を 行うことがで きる機能・施 設を持つ団体 は当協会の み	
栽培漁業センター費	単県	アユ資源緊急海 洋生態調査に係 る魚類採捕等業 務委託	酒井鉄男氏	930,000	(28.10.4) 930,000	28.10.4 ~29.2.28	28.9.21 (免除)		28.12.1	930,000	16-00090840	

予算科目 (目)	国補 単費 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
栽培漁業センター費	単費	湖山池漁場環境 回復試験に係る 魚類採捕等業務 委託	湖山池漁業協同 組合	1,307,000	(28.4.10) 1,306,800	28.4.10 ~29.3.31	28.4.14 (免除)					16-00009902 湖山池で漁業 権を有してい るのは湖山池 漁協のみ
栽培漁業センター費	単費	橋津川水門操作 に伴う東郷池流動 モジュール作成業務	国立大学法人鳥 取大学	4,633,200	(28.5.10) 4,633,200	28.5.10 ~29.3.31	(免除)		概算	28.6.22	4,633,200	16-00018957 業務を行うこ とが出来るとは 術を持つのは 当大学のみ
栽培漁業センター費	単費	シジミ旨み成分分 析委託業務	(一財)食品環境 検査協会 神戸 事業所	887,760	(28.5.26) 526,176	28.5.26 ~29.3.31	28.5.19 (免除)					新規 16-00029922 16-00081895
栽培漁業センター費	単費	栽培漁業センター 500ミリ海水取水 点検清掃業務	東京久栄(株)広 島営業所	2,356,000	(28.7.1) 2,052,000	28.7.1 ~28.8.31	28.6.28 (免除)	28.8.31	精算	28.9.15	2,052,000	新規 16-00049066
栽培漁業センター費	単費	栽培漁業センター 海水井戸ポンプ1 号点検整備業務	石倉ポンプ鳥取	688,419	(28.10.19) 687,960	28.10.19 ~28.12.2	28.10.13 (免除)	28.12.2	精算	28.12.16	687,960	新規 16-00099455
予定価格が20万円 未満のもの											417,744	
目計											14,722,280	
合計											14,722,280	

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

(平成28年3月31日現在)

行政・普通 財産の 区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月 日	面積 (m ²)	価額(円)		
行政財産	栽培漁業 センター	湯梨浜町石 脇二ノ北畑 1144-1	5,325.09	42,461,795	増加	H				H	5,325.09	42,461,795		
					減少	H				H				
	栽培漁業 センター	湯梨浜町石 脇三ノ北畑 1166	19,424.98	1144-1に含む	増加	H				H	19,424.98	1144-1に含む		
					減少	H				H				
行政財産	栽培漁業 センター	湯梨浜町石 脇二ノ甲亀山 1302-1	695	1144-1に含む	増加	H				H	606.07	1144-1に含む		
					減少	H28.6.7	88.93		修正	H				
	栽培漁業 センター	湯梨浜町石 脇二ノ甲亀山 1302-2	0	1144-1に含む	増加	H28.6.7	90		修正	H	90	1144-1に含む		
					減少	H				H				
計			25,445.07	42,461,795			1.07	0		25,446.14	42,461,795			
普通財産 (該当なし)					増加	H				H	0	0		
計			0.00	0	減少	H		0		H	0	0		
合計			25,445.07	42,461,795			1.07	0		25,446.14	42,461,795			

イ 建物

(平成28年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)			
行政財産	プレハブ倉庫	湯梨浜町石脇 1166	30.69	2,992,500	増加						30.69	2,992,500			
					減少										
	ワムシ飼育培養棟		417.60	28,580,819	増加							417.60	28,580,819		
						減少									
	アワビ棟		2,110.17	170,473,709	増加							2,110.17	170,473,709		
						減少									
	管理棟		691.92	76,063,378	増加							691.92	76,063,378		
						減少									
	津波対策避難階段		12.74	8,157,000	増加							12.74	8,157,000		
						減少									
	機械棟		386.70	39,796,653	増加							386.70	39,796,653		
						減少									
	車庫		25.00	1,623,511	増加							25.00	1,623,511		
						減少									
	ポンプ庫		8.75	831,957	増加							8.75	831,957		
				減少											
ヒラメ棟	1,382.87	134,170,880	増加							1,382.87	134,170,880				
				減少											
クルマエビ飼育棟	360.40	24,779,724	増加							360.40	24,779,724				
				減少											
アワビ棟調温施設	7.93	747,295	増加							7.93	747,295				
				減少											
濾過機	97.90	7,925,584	増加							97.90	7,925,584				
				減少											

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)		
行政財産	養殖技術指導 研修施設	湯梨浜町石脇 1166	135.00	17,033,390	増加						135.00	17,033,390		
				減少										
	漁具倉庫		99.89	7,577,099	増加							99.89	7,577,099	
				減少										
	サザ工棟		695.50	178,346,560	増加							695.50	178,346,560	
				減少										
	試料前処理室		30.00	4,223,000	増加							30.00	4,223,000	
				減少										
	沈砂棟		18.56		増加							18.56		
				減少										
	ポンプ室		28.59	35,515,430	増加							28.59	35,515,430	
				減少										
	水管更正ピット		7.76		増加							7.76		
				減少										
	井戸海水ポン プ室1		7.78		増加							7.78		
				減少										
井戸海水ポン プ室2	7.78	15,400,785	増加							7.78	15,400,785			
		減少												
井戸海水ポン プ室3	7.78		増加							7.78				
		減少												
井戸海水ポン プ室	11.65	47,416,950	増加							11.65	47,416,950			
		減少												

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)	
行政財産	ヒラメ、クルマエビ加温施設機械	湯梨浜町石脇1166	125.00	22,557,000	増加						125.00	22,557,000	
					減少								
	防疫検査施設		91.00	20,171,550	増加						91.00	20,171,550	
					減少								
計	生産種苗等飼育展示施設		49.28	28,866,100	増加						49.28	28,866,100	
					減少								
計			6,848.24	873,250,874			0.00	0			6,848.24	873,250,874	
普通財産	(該当なし)				増加								
計			0	0			0	0			0	0	
合計			6,848.24	873,250,874			0.00	0			6,848.24	873,250,874	

ウ 山林
該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）
該当なし

オ 物権
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）
該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成28年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 44,772	円 22,700	円 46,598	円 20,874	
合 計	44,772	22,700	46,598	20,874	

イ タクシーチケットの受払状況
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地
該当無し

イ 建物

(平成28年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料円		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	種苗生産業務	湯梨浜町石脇1167	5,788.70 m ²	H28.1.28	H6.4.1	H28.4.1 ～ H29.3.31		無償	湯梨浜町石脇1166	(公財)鳥取県栽培漁業協会	
			2,923.22 m ²	"	"	"		無償			工作物
計									0		
普通財産	(該当無し)								0		
計									0		
合計									0		

※工作物(2,923.22m²)は建物(5,788.70m²)に含まれる面積である。

(2) 物品

(平成28年12月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の 貸付料				
万能投影機	1	ニコンステック V-12BS	H28.4.1 ~H29.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務	
ユニット実験台	1	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"	
ドラフトチャンバー	1	三英PW式	"	月額・年額	"	"	"	"	
壁側実験台	6	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"	
ユニット流し台	11	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"	
電気泳動装置	1	AE-6133	"	月額・年額	"	"	"	"	
中央実験台	4	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"	
システム顕微鏡	1	オリンパスBX50- 34-VPT-1PM 20-3P	"	月額・年額	"	"	"	"	
紫外線流水式殺菌装置	1	フナテックLP-40	"	月額・年額	"	"	"	"	
自動給餌器(稚魚用)	4	松阪製作所 さんし郎KC-15H	"	月額・年額	"	"	"	"	
作業台	1	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"	

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
自動給餌器(稚魚用)	4	松阪製作所 さんし郎KC-15H	H28.4.1 ~H29.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
自動給餌器(幼魚用)	4	松阪製作所 さんし郎KC-40- CJ-DT	"	月額・年額	"	"	"	"		
FRP水槽	1	KF800S	"	月額・年額	"	"	"	"		
アルミテアふ化槽	2	FRP500	"	月額・年額	"	"	"	"		
FRP水槽	2	KF-1500S	"	月額・年額	"	"	"	"		
波板洗浄機	1	クボタ工業NK-50 OS型	"	月額・年額	"	"	"	"		
自動波板洗浄機	2	クボタ工業NK-50 O型	"	月額・年額	"	"	"	"		
紫外線流水式殺菌装置	4	フナテックLP-50	"	月額・年額	"	"	"	"		
冷却遠心機	1	日立工機CF15R	"	月額・年額	"	"	"	"		
PCRサーマルサイク ラー	1	宝酒造TP3000	"	月額・年額	"	"	"	"		
高圧蒸気滅菌器	1	オートクレーブMLS -3020	"	月額・年額	"	"	"	"		
高温恒温器	1	MOV-112P	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
空気脱水殺菌装置	1	サニトロンSS-10G	H28.4.1 ~H29.3.31	月額・年額	免除	東伯郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会	栽培漁業センター	種苗生産業務		
蛍光顕微鏡	1	NikonE600B	"	月額・年額	"	"	"	"		
DNA検出・撮影装置	1	AE-6915型	"	月額・年額	"	"	"	"		
マイクホン	1	ピンピンZ-65L	"	月額・年額	"	"	"	"		
測定台	2	三英DW式	"	月額・年額	"	"	"	"		
冷却遠心機	1	久保田MODEL 1920	"	月額・年額	"	"	"	"		
分光光度計	1	アマシャムフアルマシ アバイオテク	"	月額・年額	"	"	"	"		
ELISA機器	1	5501575	"	月額・年額	"	"	"	"		
スライスカッター	1	KTD-3型	"	月額・年額	"	"	"	"		
アスピレーター	1	WJ-15	"	月額・年額	"	"	"	"		
クリーンベンチ	1	PAU-1300AG	"	月額・年額	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
和船	1	SW-24BF	H28.4.1 ~H29.3.31	月額・年額	免除	東白郡湯梨浜町石脇1166 公益財団法人鳥取県栽培漁業協会		栽培漁業センター	種苗生産業務	
船外機	1	29.9KWスズキ製	"	月額・年額	"	"		"	"	
冷蔵庫	1	SRR-K1883	"	月額・年額	"	"		"	"	
軽キャブバン	1	日産 鳥取480 か6710	"	月額・年額	"	"		"	"	
軽キャブバン	1	日産 鳥取480 か6845	"	月額・年額	"	"		"	"	
フォークリフト	1	TCM FHGE15T4	"	月額・年額	"	"		"	"	
チヨツパー	1	エムラES-2フード スライサー	"	月額・年額	"	"		"	"	
軽トラック	1	スズキ 鳥取480 け9477	"	月額・年額	"	"		"	"	
合計	76									

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成28年12月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 m	貸付(使用)料(月額) 円
行政財産	東伯郡湯梨浜町石脇1166	12.5	1,000
普通財産	(該当無し)		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

(平成28年12月31日現在)

月別	前月末 人	当月減		当月増		当月末		調定額 円	収入済額 円	収入未済額 円
		うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人			
4月	32	3		1		30		30,000	30,000	0
5月	30			2		32		32,000	32,000	0
6月	32					32		32,000	32,000	0
7月	32			1		33		32,000	32,000	0
8月	33					33		34,000	34,000	0
9月	33					33		33,000	33,000	0
10月	33	1		1		33		33,000	33,000	0
11月	33					33		33,000	33,000	0
12月	33					33		33,000	33,000	0
合計	291	4	0	5	0	292		292,000	292,000	0

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成28年12月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数 km	本年度		備考
					車検年月日	修理費等 円	
軽四輪貨物自動車	23	鳥取480か67-10	H23.8.1	85,496	該当なし	19,244	
軽四輪貨物自動車	23	鳥取480か68-45	H23.8.10	88,487	該当なし	17,280	
軽四輪貨物自動車	28	鳥取480け94-77	H28.9.26	2,952	該当なし	8,629	
合計		3台				45,153	

18-2 船舶(公有財産の船舶を含む。)の管理状況

(平成28年12月31日現在)

船名	トン数	取得年月日	稼働 日数 日	燃料		修繕費等 円	左の主な 内容	定係港又は 船籍港	占用料 円
				消費量 ℓ	金額 円				
おしどり	6	H22.9.1	53	5600	392,518	292,442	観測ウィンチ交換、ワイパー修理、排気ガス漏れ修理	泊漁協	免除
石脇丸	1	H25.11.29	80	490	59,006	49,464	メンテナンス、点検	泊漁協	免除
計									

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成28年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	取得 年月日	耐用 年数 年	取得 価格 円	不用決定 年月日	不用と する 理由	処 分				備 考
							売却棄 却の別	売却方法・ 売却理由	処分 年月日	売却額 ・処分 費用 円	
北原式B型 採水器	1	H16.6.4	15	112,875	H28.11.28	亡失					H27.5.25 亡失報 告済
合 計	1			112,875							

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷

(平成28年12月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金 額 円	亡失、損傷 年月 日、時	同左場所	同左概要	報 告 年月日	会計局 の 審査結 果
公用車(鳥取480け94-77)	1	5,400	H28.11.7	栽培漁業セ ンター 機材室付近	軽トラックをバック で横付けするた め、右側のサイド ミラーの角度を調 整したところ、力が 入りすぎ右側のサ イドミラーを割っ てしまった。	H28.11.17	賠償責 任なし
合 計		5,400					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できな	現物が確認できなかった物品名	個 数
28年9月1日 ～ 28年10月4日	・ 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>		

22 職員旅費の執行状況調べ

(1) 旅行中の事前承認

旅行総件数	旅費システムで発令日が発日より遅い件数 ①	①のうち履歴で事前承認が確認できた件数 ②	①のうち②以外で緊急等特別な理由があった件数 ③	特別な理由もなく事前承認がされていない件数 (①-②-③)	備 考
39	2	0	0	2	

(2) 旅費概算払の精算等

ア 概算払の精算が旅行完了日の翌日から2週間以上経過しているもの(零精算を除く)…………… (0 件中 0 件)

イ 精算払が旅行完了日の翌日から30日以上経過しているもの ……………… (17 件中 2 件)

(3) 旅費の計算

用務先	旅行期間	用務内容	支出金額	備 考
三重県伊勢市	12/7～12/9	平成28年度魚病症例研究会&魚病部会	48,648	
山口県山口市	1/31～2/1	赤潮・貧酸素水塊対策推進事業に係る日本海グループ結果検討会	46,060	
広島県広島市	12/8～12/9	平成28年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮・貝毒部会	42,180	
山口県山口市	2/15～12/16	平成28年度ハタ類資源解析研究会	41,490	
新潟県新潟市	12/8～12/9	日本海ブロック水産業関係研究開発推進会議	37,093	

(4) 旅費の適正執行の取組状況等

センター内で毎月初めに開催する全体会議において、旅行命令の事前承認の徹底、概算払旅費は旅行終了後2週間以内に清算すること、旅費の精算払いには旅行終了後30日以内に速やかに支払いを受け、同一市町村内の移動は基本的に日額旅費を充てることなどを繰り返し指導し旅費事務の適正化に努めている。

2.3 事業別予算執行状況調べ

(平成28年12月31日現在)

目 名	栽培漁業センター費	
事業名		事業の概要(目的、実績等)
サケマス養殖技術支援事業		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
美保湾ヒトデ大量発生による資源影響調査		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
資源回復技術開発試験		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
豊かで安心な魚を育む漁場環境監視事業		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
キジハタ栽培漁業実用化支援調査		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
魚病対策事業		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
養殖事業展開可能性調査		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
湖山池漁場環境回復試験		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
沿岸漁業重要資源調査		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
東郷池ヤマトシジミ資源回復試験		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
アユ資源緊急海洋生態調査		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
環境に適した漁法の開発試験		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
藻場造成調査		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載
未利用海藻増産試験(海の葉っぱビジネス創出活動 Part II)		2.4 試験研究調査事業別実施状況調べに記載

2.4 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成28年12月31日現在)

事業名	実施計画 期間 (予算額 支出済額)	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
サケマス 養殖技術 支援事業	28年度 ～30年度 円 (2,512,000) 1,147,591	養殖・漁場 環境室	ギンザケの高水温耐性獲得の検討による歩留まり向上、ニジマス等の三倍体技術の精度向上による販売機会増大により、サケマス類の増産を検討する。	(成果) ・ギンザケのビタミンC投与による海水馴致能力向上の可能性が示唆された。 ・4倍体処理を行いふ化仔魚を得た。 (課題) ・体内のビタミンC濃度の測定が機器の故障により出来なかったため、追加試験が必要。
美保湾ヒ トデ大量 発生によ る資源影 響調査	28年度 ～29年度 円 (987,000) 855,315	増殖推進 室	(調査対象) ヒトデ、バイ、ヒラメ (目的) (単) 大量発生したヒトデの現状等を把握し、効率的駆除方法の提示を行う。また、栽培漁業資源に与える影響を把握し、増殖方法の検討を行う。	(成果) ・平成28年度は、ヒトデの分布量は少なく、月別の推移でも大発生は確認されなかった。 (課題) ・漁業者からヒトデ分布の情報が寄せられており、引き続き継続してモニターしていく必要がある。 ・ヒトデの胃から殻高1cm以下の小型のバイ稚貝が確認されたことから、ヒトデによる食害の程度を把握する必要がある。
資源回復 技術開発 試験	19年度 ～ 円 (2,977,480) 1,897,896	増殖推進 室	(調査対象) イワガキ、バイ (目的) (単) 平成19年度から漁業者が実施しているイワガキ及び平成22年度から取り組んでいるバイ資源回復の取り組みを支援するため、資源状況(効果)の把握と増殖策に関する調査を実施する。	(成果) ・水産基盤整備事業で設置したイワガキ礁の設置効果調査を行った。 ・バイ産卵器の投入方法の指導や投入時期の情報提供を行った。 (課題) ・イワガキ礁に合った岩盤清掃機を開発することが必要である。 ・イワガキの食害生物の駆除・防除方法を開発する必要がある。
心な魚を 育む漁場 環境監視 事業	19年度 ～ 円 (2,026,676) 919,929	増殖推進 室	(調査対象) 海洋環境(水温・塩分・クロロフィル)、有害赤潮プランクトン貝毒調査、藻場の監視 (目的) (単) ・沿岸漁業者の操業に役立つ海況と海洋観測前後の漁獲情報等を提供する。 ・有害赤潮プランクトンを監視する。 ・イワガキ出荷の安全・安心の確保のため貝毒原因プランクトン、ノロウイルスを監視する。 ・海藻の分布状況を監視する。	(成果) ・漁場環境や漁獲情報の迅速な提供によって漁業者の日々操業に役立った。 ・有害赤潮の発生予測によって被害防止策を迅速に講じることができた。 ・特産品であるイワガキの安全な流通とブランド保持に寄与した。 (課題) ・有害赤潮等の被害を防止するには県内及び臨県の各機関との連携・監視調査が必要である。 ・磯根資源を守るためには、県下を広く網羅した定期的な藻場監視調査が必要であり、長期的に知見を集積することが必要である。

事業名	実施計画 期間 (予算額 支出済額)	担当室	試験研究 調査の目的	試験研究調査の 成果・課題
キジハタ 栽培漁業 実用化支 援調査	28年度 ～32年度 円 (4,344,000) 2,265,052	増殖推 進室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
魚病対策 事業	20年度 ～ 円 (2,791,760) 705,357	養殖・漁 場環境 室	(調査対象) アワビ、アユ、ギンザケ、ヤマメ、ニ ジマス、イワナ、コイ、フナ、マサバ、 キジハタ、アユカケ等 (目的) (補助) 薬事法及び食品衛生法に基づき養殖 水産物の食の安全性を確保するため、養 殖場の巡回指導、水産用薬品の残留検 査、適正使用指導を行う。 種苗生産や養殖試験過程で発生する 疾病の原因究明、対策技術の開発を行 い、安全生産に寄与する。	(成果) ・魚病発生時に必要な検査を実施し、原因究 明を図った。 ・種苗生産で発生する魚病についての防除策 を研究した。
				(課題) 生産量の急増しているマス類養殖に関する 最新の魚病疾病・対策の情報収集が必要であ る。
養殖事業 展開可能 性調査	28年度 ～ 円 (6,202,000) 4,026,079	養殖・漁 場環境 室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
湖山池漁 場環境回 復試験	12年度 ～ 円 (4,007,000) 2,903,225	増殖推 進室	(調査対象) ヤマトシジミ、魚介類 (目的) (単) 「湖山池将来ビジョン」に基づく塩分 導入が、湖内の魚介類へ与える影響お よび水質の変化を把握するとともに、 重要魚種の資源状況把握及び水産振興 策としてのシジミ増殖策を検討する。 また、漁場環境の改善と造成を目的 とした、安価な手法による覆砂の効果 を検証する。	(成果) ・湖内の魚介類の生息状況を把握した。 ・H28年はシジミの漁獲量が減少したが、H27 年生まれ群が順調に成長し、次年度は漁獲量 が回復する見込み。
				(課題) ・ヤマトシジミ漁が安定して行える漁獲量な どを試算する必要がある。 ・安価な覆砂の効果が何時まで続くか把握す る必要がある。
沿岸漁業 重要資源 調査	13年度 ～ 円 (9,425,000) 4,970,694	増殖推 進室	(調査対象) ヒラメ、ナガレメイタカレイ、マダイ、 サワラ、ソデイカ、サザエ等 (目的) (単) 沿岸漁業の重要対象種の資源動向と 漁獲実態に関する調査を行い、漁業者 へ資源管理方策の提言や高効率な漁業 経営を促進するための情報発信を行 う。	(成果) ・データ蓄積しており、稚魚の発生動向等か ら来漁期の漁獲予測が可能であり、漁業者の 関心のある情報を提供している。
				(課題) ・サザエ、アワビの漁獲サイズ等を把握し、 資源管理を行う上でのデータを蓄積する必 要がある。 ・漁獲の多いマアジについて沿岸域での調査 がされておらず、漁獲動向を把握する必要が ある。

事業名	実施計画 期 間 (予算額) 支出済額	担当室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試 験 研 究 調 査 の 成 果 ・ 課 題
東郷池ヤ マトシジ ミ資源回 復試験	26 年度 ～28年度 円 (7,923,000) 6,488,852	増殖推 進室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
				(課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載
アユ資源 緊急海洋 生態調査	27 年度 ～28 円 (930,000) 930,000	増殖推 進室	(調査対象) アユ、カタクチイワシ、海域プランク トン (目的) (単) 本県の海域におけるアユ仔稚魚の資 源変動要因を明らかにする。	(成果) ・アユ仔魚と競合すると考えられるカタクチ イワシ等の資源量把握や餌料調査(プランク トン量の把握)を行い、カタクチイワシによ る食害はなかった。 (課題) ・アユの資源変動要因を明らかにするため、 他都府県の解析方法等の情報収集を行う。 ・過去のデータがある日野川をモデルに複数 年の解析が必要である。
環境に適 した漁法 の開発試 験	27 年度 ～29年度 円 (3,522,000) 2,542,389	増殖推 進室	(調査対象) 環境に適した漁法開発、小型底びき網 の漁具改良 (目的) (単県) 海水温の上昇等の漁場環境の変化に よる漁獲の低迷や厳しい沿岸漁業経営 の改善に繋げるため次の調査を行い、 各地区の漁業者に速やかに普及する。	(成果) ・サワラの夜間釣りは、他県の事例を参考に 県内でも釣獲できることが明らかになった。 (課題) ・サワラの夜間釣りは、導入に向けてより効 率的な漁獲方法を検討する必要がある。 ・深場での漁法開発では、実用化には課題が あり改良が必要である。
藻場造成 調査	27 年度 ～29年度 円 (619,000) 365,875	増殖推 進室	(調査対象) 海洋環境、ノコギリモク、クロメ、 食害生物(ムラサキウニ等) (目的) (単県) 海水温の上昇等により藻場が衰退し ているため、藻場造成の成功率向上に つながるよう藻場の増加・衰退の原因 を究明するとともに、浅場～深場(水 深約十数 m)までを対象とした藻場造 成方法を開発する。	(成果) ・平成 27 年に水深 6m で手応えを得たノコギ リモクやクロメを用いて更に深い水深 10m で 御来屋でスポアバックの投入を行ったが、平 成 27 年時に比べ効果が低く、鉄キレート材 や岩盤清掃を試みた。 ・食害生物のムラサキウニが大量発生してい る浜村で 1 年間駆除調査を行い、藻場の回復 を確認した。 (課題) ・漁業者から藻場造成の要望の強い深場(水 深 10m 以深)は、他の海藻が少ないことから 藻場造成しても食害にあってしまうなど従 来の方法では藻場造成が難しく、今後は岩盤 清掃や生長促進材の利用なども含めた効果 を検証する。

事業名	実施計画 期間 (予算額) 支出済額	担当室	試 験 研 究 調 査 の 目 的	試 験 研 究 調 査 の 成 果 ・ 課 題
未利用海藻増産試験(海の葉っぱビジネス創出活動 Part II)	27 年度 ~29年度 円 (1,968,000) 1,036,622	養殖・漁場環境室	「6 主な事業に関する調べ」に記載	(成果) 「6 主な事業に関する調べ」に記載 (課題) 「6 主な事業に関する調べ」に記載

25 船舶運航調べ

(試験船おしどり)

(平成28年12月31日現在)

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
沿岸漁業重要資源調査	海上1区	28.7.25	1	延人 1	延人 2	延人	
資源回復技術開発試験	海上1区	28.6.10 ～28.7.7	3	6	4		
豊かで安心な魚を育む 漁場環境監視事業	海上1区	28.4.20 ～28.9.26	13	12	19		
キジハタ栽培漁業実用 化試験	海上1区	28.6.14 ～28.8.17	9	10	14	5	
環境に適した漁法の開発 試験	海上1区	28.6.8 ～28.11.15	10	12	19		
藻場造成事業	海上1区	28.5.19 ～28.12.12	7	10	10		
養殖事業展開可能性調査	海上1区	28.5.17 ～28.11.12	10	16	14	7	
合計			53	67	82		

(試験船石脇丸)

(平成28年12月31日現在)

事業名	出航先	期間		乗船者			備考
		月日～月日	日数	調査員	乗務員	その他	
資源回復技術開発試験	海上1区	28.4.6～28.12.20	24	延人 34	延人 24	延人	
豊かで安心な魚を育む 漁場環境監視事業	海上1区	28.8.17	1	2	1		
養殖事業展開可能性調 査	海上1区	28.6.14～28.12.28	34	40	34		
環境に適した漁法の開発 試験	海上1区	28.5.18、6.20	2	2	2		
藻場造成事業	海上1区	28.5.6～28.11.14	17	30	17		
未利用海藻増産試験	海上1区	28.7.27、9.26	2	3	2		
合計			80	111	81		

26 用船の状況調べ

事業名	調査内容	隻数	出向先	借上げ延日数	金額(円)		備考
					計	使用料内訳	
美保湾ヒラメ事業放流サポート調査	桁網調査	2	美保湾	9	680,000	80,000円/日・隻 0.5日×1日 80,000円/日・隻	4マイル未満3t以上 4h未満30m以浅 4マイル未満3t以上 4h以上30m以浅
環境に適した漁法の開発試験	サワラ夜間釣獲試験	1	赤碕地先	2	160,000	80,000円/日・隻 ×2日	4マイル超 3t以上 4h以上30m以浅
沿岸漁業重要資源調査	桁網調査	3	賀露～青谷沖、泊～天神川灘	16	720,000	80,000円/日・隻 ×9日	4マイル未満 3t以上 4h以上 30m以浅
					630,000	90,000円/日・隻 ×7日	4マイル超 3t以上 4h以上30m以深
	ソデイカ漁期前試験操業	2	賀露沖	2	180,000	90,000円/日・隻 ×2日	4マイル超 3t以上 4h以上
キジハタ栽培漁業実用化支援調査	追跡調査他	30	網代、酒津、赤碕、中山、御来屋、淀江地先	49	750,000	30,000円/日・隻 ×0.5日×48日	4マイル未満 3t未満
						60,000円/日・隻 ×0.5日×1日	4マイル未満 3t超
藻場造成	磯焼け調査	2	浜村	6	90,000	30,000円/日・隻 ×0.5日×6日	4マイル未満3t未満 4h未満
湖山池漁場環境回復試験	シジミ調査他	1	湖山池	11	220,000	20,000円/日・隻 ×0.5日×22日	内水面
合計		41		95	3,430,000		

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

品目	数量	単価		単価	計
		内訳	単価		
特になし					

(2) 監査委員事務局に対する要望等

品目	数量	単価		単価	計
		内訳	単価		
特になし					